

新しい司法書士像を求めて

ザ・フォーラム

《季刊》2010.7 No.83

発行

司法書士・行政書士
丹羽正夫事務所

〒461-0017
名古屋市中東区東外堀町32
番地 鈴木ビル4F
TEL 052-962-9693
FAX 052-962-9633
E-mail info@niwaoffice.com
URL http://www.niwaoffice.com/

登記・法律問題など、
お困りのことがござい
ましたら、お気軽にご
相談ください。



日本社会の現状と今後

司法書士 丹羽正夫

一 はじめに

日本は、世界第三位の経済大国であるが、政治・経済・社会の状況は、活況がなく、好ましい状態とはいえない。その原因は、少子高齢化社会の到来、事実上のワークシェアリングに伴う収入低下、新興国の台頭、精神的支柱の欠如等があげられる。

一定のサイクルの中で、経済の成長・停滞・低下・成長の循環があることは、停滞時代に生きる者にとっては辛いことであるが、現象論的には避け難いのだろう。

ある経済学者は、今後一〇年はデフレが進行し、その後一〇年はインフレが進行するという。また、ある経済評論家は、日本は、六〇年周期で、下降局面と上昇局面とを一つのサイクルとして繰り返すという。

いずれにしても、自己防衛を怠らないようにしたい。基本的には、自分の身は自分で守るほかないのだから。

二 日本の優れたところ

物造りの技術とサービスの質において、日本は、世界No.1であるとよく言われる。ところが、国内の供給能力に比し、需要は低迷している。これに対し、中国・インドの在日事業家は、日本のNo.1ノウハウを新興国に誘致

し、成功を収めている。日本人は、その優位性の認識が実感できていないし、その活用方法がわかっていないのである。

また、日本の環境技術、高齢化社会に対応する科学技術・ノウハウも世界No.1であろう。このような分野も、将来の成長産業となるであろう。

三 日本の優位性を支える日本文化

その根底にあるものとして、日本人の美意識をあげたい。自然を愛でつつ、日本画、美術工芸品、庭園、日本建築、短歌、俳句・川柳、茶華道、着物などに通じる、侘びさび、引き算の美学、優美な世界などは、独自性があり、優れた文化、個性的な美意識の賜であると思われる。

文化的な基盤は、人の生き方、美しく生きようとする人の生き方に支えられている。美しく生きるといふことは、日本の文化を大事にして、謙虚に品よく生きるといふことであろうか。巨額財政赤字を子孫に残すことや、政官界のある者が、野心的に、金と地位に拘泥する姿は美しくないのである。これに対し、若い人の野心は、必要不可欠である。若い人が、目を輝かせ、夢に胸を膨らませるような社会は美しい社会であろうと思う。